

### 2020年度夏季手当低額回答に対する職場からの声！ ～今こそ、ひがし労の旗のもとに結集を！～

No90 では、会社の超低額回答に対する現場の生の声を紹介しました！今回は、それ以外に出されている意見を掲載します。

本部は、2020 年度期末手当に関する申し入れの団体交渉において要求満額獲得に向けて精力的に会社と議論してきました。2019 年度期末決算はもとより当面の経営方針、今後の社会情勢や景気の動向、そして、組合員はもとより職場の切実な声、家族の想いを本社に発信してきました。J R ひがし労は、本部交渉団のみならず全組合員の意思を結集して 2020 年度期末手当満額獲得の闘いを構築してきました！

●ひがし労の実質 2.3 ヶ月の打ち出し方が正しい、単純に 2.4 ヶ月だったと思った、本来であれば会社がちゃんと説明すべき

【東労組と輸送サービス労組に対して】 ⇒ 東労組とサビ労の罪は重い！！

- 東労組やサビ労に責任がある、会社ですり寄ったら結果など出ない、東労組が「ごっくん労組」だから、東労組が第一組合では何も変わらない、会社にもがっかりしたが東労組にもがっかりしたサービス労組の 2.7 ヶ月要求が信じられない、要求が少ないのはおかしい、サビ労は満額回答を求めて低額を要求したのではないのか、この回答で席上妥結するのは有り得ない
- 組合が闘わなかったらもっと低かった、組合の重要性をあらためて感じた、期末手当までに少しでも組織拡大できるように頑張る、会社を変えられるのは正しい要求と人数、組織力が必要だ

●社友会や未加入者が足を引っ張っているのは間違いない、社友会の責任は重い、社友会や未加入者に結果を受けてどう思っているのかぜひ聞きたい

【社友会会員の声】

- 低額回答を引き出した理由の一つに社友会の存在があることは社友会に入っている人もわかっている、実際そう感じている、加入していない事が要因になっていることを受け止めている、この状況をつくったのは社友会と言われても仕方ない、社友会に入らされたが社友会は全く何もしていない、何もできない、少ないって自分が言える立場ではない、組合に入っていない人が今回の結果に対して何も言えない
- 組合への加入が今の会社では不利益を受けると感じてしまう、会社の幹部は飲み会や影では色々なことを言っている、ボーナスが少ないと思いつつも社友会や未加入者はそのことについて考える人がいない、声が挙げられないので諦め感しか残らない、社友会などは何も言う資格がないから仕方ないが若手もこの先の会社を見て辞めるか考えている人もかなりいる

※なお、これらの表現は出された意見をそのまま引用しています

労働条件の向上を放棄してはいけません！一人の力は小さくてもみんな力で力を合わせて闘いましょう！  
JRひがし労で真の安全で安心して働ける環境を共に創りましょう！